

# ふるさとのかほ

平成17年7月(2005年)野間町議会だより 5号

発行編集/野間清治会 平37E-9022 郡馬原製生市福岡町6番2号 製 0277-47-4341

## 野間清治生誕の碑

### 建立なる

嗣生・新野に講談社の  
初代社長である野間清治  
の生誕の碑が建立された。

年十二月十一日の誕生  
日に南小学校校庭を会場  
製会役員・南町人会長ら  
が参加し、碑の建立に向  
かって参集を交わしたの  
が、具体的な動きの第一  
歩であった。

以後、生誕の碑実行委  
員会が誕生し数度に渡つ  
て懇話、生誕の碑の意  
義・スタイルなどの話し  
合いが行われた。碑建立に  
あたつての設置場所の候補地と考えられる、南小  
学校校庭の横の、南小  
下・南小学校東北の三角  
緑地帯・中通り緑地帯  
などを調査した日から半  
年というスピードで実現  
した。

地元南地区の区長・町  
会長・南町人会・南小  
校PTA関係者の熱意に  
よつて早い実現を見たの  
である。しかしながら先  
程にたつて実行委員会を

牽引して来た小林宗昌が碑の  
完成を待たず病のため故人とな  
られてしまったことは残念の極  
みである。

野間清治は一八七八年十二月  
十一日、山田郡新野村(現在の  
嗣生市新野町九十九番地野間学校  
敷地内)で生まれ、  
南地区に母方の姓を継ぐシ  
ンボルが生まれ  
たことにより、  
新しい文化・教  
育の道らしい道  
となることに大  
きな喜びをお  
さる。口頭で語つて  
いた。

歴史が証明し  
ているように文  
化を語る町が  
保てるのである。  
先輩に続けの  
合い言葉が、池  
に投じられる石  
の音程のように  
大きく大きく広が  
がつて、嗣生の  
輝きと心と感

じた。

野間清治生誕の碑は、五月二  
十九日(緑の日)に午前十時半  
から式典式が行われ、建立さ  
れた碑は縦二、一メートル横一  
メートル五寸。昨年暮れから地  
元南地区・野間清治会館など  
の有志並びに多くの市民の  
方々・団体からの賛助を得て二  
百万有奇円のご寄付によつて実  
現をみたものである。

除幕式は地元の南小学校と南中  
学校の児童生徒六八名参加、大沢  
市長・新野議長・講談社社長高橋  
健三田博氏らをお迎えして八十有



会名が参加し、除幕式並びに祝  
賀レセプションも華しい夢のあ  
る朝の場となった。

生誕の碑建立実行委員も毎日  
会合を持ち、今後へ向けての活  
動の課題を協議、積極的に解決  
していくことを(仮称)生誕の碑  
保存委員会として、遂次我が町  
生の光輝、野間清治の教育や大  
衆文化に影響を与えた功績を語  
り継ぐ機にしていければと、  
新たな取り組みが始まろうとし  
ている。

今も講談社から使者側隔年  
寄贈され二万円の款入っている。